

66 大学ファンド99 国会議員との懇談会を実施 に関して



全大教「政府による「大学ファンド」
「世界と伍する研究大学」の検討に関する見解」



鳥畑与一 全大教中央執行委員長

引き続き個別での
懇談も行っています

2/17
2022



大学全体の教育研究の発展にむけて

■「大学ファンド」を活用した支援は、幅広い大学を対象とする

■「大学ファンド」からの支援開始後も大学運営の基盤となる運営費交付金を充実すること

■トップダウン強化ではなく、教育・研究を担う教職員の主体性を発揮でき、構成員の

衆議院文部科学委員会および参議院文教科学委員会に所属するすべての議員に懇談会への参加を申し入れ、自由民主党、立憲民主党、日本共産党、れいわ新選組の各議員の参加があり、「大学ファンド」に関して要望・意見交換を行いました。

全大教からは、「大学ファンド」を大学全体の教育研究の発展に資するものとするためには何が必要かという視点から、次のような要望を行い、国会審議を通じた実現を求めました。

全大教中央執行委員会は2月17日、「大学ファンド」に関して、国会議員との懇談会をオンラインで実施しました。

■「大学ファンド」の運用は持続性を重視した運用を行なうこと

■「大学ファンド」とは別に検討されている「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」の充実と「大学ファンド」との連携

議員からは、「大学ファンド」の運用リスクに関する発言がありました。

今後も、今回の懇談会に参加されなかった議員を含めて、個別の懇談などを行う予定としています。

(書記長 永井信)

チェック・牽制が機能する大学運営の仕組みを構築すること

■「大学ファンド」の支援対象大学に3%の事業成長を求めるとは、教育・研究力強化の結果として事業成長につながる支援を行うこと

■「大学ファンド」の運用は持続性を重視した運用を行なうこと

■「大学ファンド」とは別に検討されている「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」の充実と「大学ファンド」との連携



2022年3月10日

第393号

【発行所】
全国大学高専教職員組合
(略称：全大教)



【PDF版 (全面カラー)】
http://zendaikyoo.or.jp/?page_id=107

【電話】03-6802-4250

【HP】<http://zendaikyoo.or.jp/>

【所在地】〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル 2階

* 組合員の購読料は組合費に含まれています (一部30円)

今月の紙面

- 1 春季・新歓期 合同地区別単組代表者会議
「北海道・中部地区」「東北・九州地区」
「関東甲信越地区」開催報告
- 2 論壇「給付法と労働法の「狭間」で?」
— 附属学校での残業(代)問題・再考 —
金沢大学人間社会研究域法系准教授 早津裕貴
- 3 職場のQ&A ④ 職場の法律・労働安全衛生法
- 4 単組からのレポート
・電気通信大学「天学」12月に休暇制度を積極的に改善。組合 雇止め問題の早期解決を求む
・大阪教育大学
「暗闇のなかでも明るい光が…」
・宮崎大学
「声を届け、声を聴く」

新採用者へ、隣のあの人へ、久しぶりに会ったあの人へ 組合の大切さを伝えて加入を呼びかけよう!

組合なら 労働条件の改善、ちょっとした相談ができます!
誰かのために、教育・研究・医療の充実のために、貢献ができます!

より良い

労働条件

私たちの労働条件は組合と法人との交渉で決まります。組合は仕事での困りごとや要望について仲間と改善策を話し合い、それをもって法人と話合います。一人ひとりの組合加入が、より良い労働条件をつくる大きな力になります。

共感できる

仲間

同じ目線で語り合える同世代、悩みを聴いてくれる先輩、職種や分野を超えた仲間がいます。コロナ禍で働き方も変化し便利になった反面、コミュニケーションが希薄となった気も。さりげなくお互いを見守り声をかけ合う職場は、きっと毎日を充実させます。

教育・研究・医療

充実

大学・高専等をとりまく状況は目まぐるしく変化しています。教育・研究・医療の充実への期待は高まる一方で、私たちの業務は複雑になり、ますます忙しくなる日々。教育・研究・医療の将来について一緒に考え、社会に発信しています。